

羽区 新地

ふくしの和

題字 長澤 茂

第19号

発行 横浜市港北区
新羽地区社会福祉協議会
会長 中山 宏
編集人 長谷川武明
港北区新羽町2200
☎ (541) 5578



「新年を迎えて」

港北区長 持田 一皇

新羽地区社協の皆様、あけましておめでとうございます。日ごろから地域での福祉活動にご尽力をいただき、ありがとうございます。

さらに広げていただきました。このようなことを含めて、平成十五年度横浜市社会福祉協議会より会長感謝賞を授与されました。誠にありがとうございます。

特に昨年は新羽地区「ささえあい連絡会」と地区社協の皆様が、ボランティアグループ「竹の子」を立ち上げ、地域福祉の輪を

これも一重に日ごろの皆様熱意と努力のたまものと思います。少子・高齢化社会の進展に伴い一人暮らし高齢者や子育てに関する

「新年を迎えて」

新羽地区社会福祉協議会

会長 中山 宏

明けましておめでとうございます。皆様には、心新たに新年を迎えることと存じます。

「ば」の存在の周知が足りない面もありますので、折に触れて皆様方にアピールしていきたいと思っております。

日ごろより新羽地区社会福祉協議会へのご支援ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。おかげ様で活動の一つとして、平成十四年発

近年の社会現象としてわが国では、急速な少子高齢化が進んでおります。この新羽地区でも、地域と行政が連携して、高齢者や障害者、子どもなどの支援をしていかなければと思っております。

足しましたボランティア「竹の子」の活動も、多くの方々のお力により軌道に乗ってまいりました。しかし、まだ「竹の子にっ

「福祉は小さな親切から」と言

問題がますます大きくなってきております。

地域のきめ細かいニーズには行政だけでは到底対応できず、地域福祉の推進役である新羽地区社協の皆様と我々行政が一体となって取り組んでいきたいと考えております。

新羽地区社協のご発展と皆様のご多幸を祈念しております。

新田小学校5年 青山 明日香

「やっちゃん」の一言で 明るい社会

「ありがたう」 大事な一言 わすれずに

「だれにでも 明るい笑顔で あいさつを

わすれずに 新羽小学校6年 劉込 和沙

われておりますので、地域の人たちがお互いに支えあい、頼りあえる明るい町づくりが大切なのではないのでしょうか。この目標に向かって少しでも近づくよう努力してまいりますので皆様のご協力をお願いいたします。

最後に皆様のご健勝を祈念いたします。そしてご挨拶とさせていただきます。

最後に皆様のご健勝を祈念いたします。そしてご挨拶とさせていただきます。

就任ご挨拶

新羽連合町内会 会長 塩山 良三



平成十五年四月、新羽連合町内会長に就任いたしました。

た。前会長同様ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。高齢化は急速に進み、今や世界一の長寿国となり、一方青少年犯罪の若年化や子どもに対する虐待の増加等多くの課題を抱え、社協の使命は益々重要となっております。

新羽地区社協におかれましても「地域支えあい連絡会」が設立された後、新たにボランティア「竹の子」も誕生し、軌道に乗っております。

一方人口の増加により、区内で幼児の占める割合は一番高く、核家族化による子育ての不安も問題化し「子育て支援」も始まっております。その顕著な活動が評価され昨年十一月、市社協より優良地区社協表彰を受賞されました。

新羽地区社協の活動には心から敬意を表します。社協の構成の多くは各町会から推薦された方々であり、社協と連合町内会は共に協力し活動してまいりたいと考えております。

最後に新羽地区社協の益々のご発展を祈念いたしましてご挨拶とさせていただきます。

新羽地区社会福祉協議会

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------|------|------|------|-------|------|-------|------|------|-------|-------|-------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 相談役 | 中山 宏 | 理事 | 三浦敏郎 | 事務局長 | 望月俊一 | 監事 | 松村清見 | 副委員長 | 長谷川武明 | 委員長 | 小川隆次 | 広報委員 | 川向隆次 | | | | | | | | | | | |
| 柴田 周 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大谷 佐一 | 江澤 孝治 | 永井 喜男 | 萩原 正夫 | 望月 俊一 | 酒川 博子 | 松村 清見 | 中丸 恵子 | 中山 利光 |
| 塩山 良三 | 秋元千代 | 土岐章臣 | 中村徳次 | 長谷川武明 | 中山幹雄 | 石原三喜雄 | 岩崎和雄 | 齊藤 實 | 西山 一雄 | 小山 三郎 | 山口久仁子 | 小野 明 | 秋元照男 | 難波 候子 | 鈴木正敏 | 大 | | | | | | | | |

ボランティア 「竹の子にっぽの一年」

早いもので、新羽地区支えあい連絡会から生まれたボランティア「竹の子にっぽ」の活動も平成十四年十二月の初活動以来、一年が経ちました。

よちよち歩きで始まったボランティア活動も、新羽町の様々な皆様のご協力を得て、元気に活動を続けています。

最近では、ボランティアの依頼件数も除々に増え、その内容も高齢者の話相手から障害児の通学援助まで多岐にわたる活動となりました。特に病院への、薬取りや庭の草むしり、粗大ごみ出し、ガラス拭きなど介護保険等の公的サービスでは手の届きにくい内容の依頼が多くなってきています。

ボランティアのメンバーも研修



竹の子にっぽ事務局 電話：090-6797-9014
受付時間：土日祝祭日を除く13～15時

を重ねて、様々な活動依頼に対して安全に遂行できる様に準備をしています。

新羽町に先祖代々住んでいる方、最近になって新羽町に住み始めた方、お年寄りから子どもまで誰もが安心して暮らせる町であり続けることが私達の願いであります。そのために私達の活動が少しでも皆様のお役に立つことが出来るように願っています。



ご存じでしょうか？

最近の新羽町は港北区内のどの地区よりも人口に対する子どもの割合が多いそうです。

これは、新築マンションの建設が多くあり、そこに新しく住み始めた多くの若い世代の家族が、新

あなたのまちの 行政相談委員は

045-531-3972 小山 米子です。

このような場合ご相談を...



国の仕事などについて

- 苦情がある、困っていることがある
- こうしてほしい
- 苦情を申し出たが、説明や措置などに納得がいかない
- 苦情や困っていることなどについて、どこに相談してよいか分からない
- 手続・サービスなどの関係で制度や仕組みが分からない

などのことがありましたら、ご相談ください。

たとえば

- 年金、医療保険、老人保健・福祉
- 交通安全 ● 雇用保険、労災保険 ● 登記事務
- 道路 ● 生活衛生 ● 郵便・貯金・簡易保険
- 消費者保護 ● 窓口のサービス

町民になっていることを表しています。若年人口が減り、高齢化率が上がり続ける日本の他地区に比べてすばらしいことだと思いませんか。先日の支えあい連絡会で町会長さんのお一人がおっしゃっていました。「新羽町にたとえ短期間でも居住した人たちが、他の町で暮らし始めた時に、新羽町に住んでいた時を幸せな記憶として残る町にしたい・・・」と。

ボランティア「竹の子にっぽ」は、これからも古い伝統と若い世代が融合する理想の町になるように、町民一人一人が、人に対して思いやりを持って生活できる温かい町づくりのために、活動を続けていきますので、皆様よろしくお願いたします。

なお、ボランティアに興味のある方、ちょっとのぞいてみようかなと思われる方は、「竹の子にっぽ」の事務局にご連絡ください。仕事を依頼の方も相談だけでもかまいませんので、お気軽にお電話をいただければ嬉しいです。

(中丸恵子・他記)

新羽中央町内会

会長 石原 三喜雄

平成十五年四月に就任して、はや九ヶ月が過ぎました。

本年度は町会の会館建設や法人化も含め新たな転機を迎え、町会長としてそれに伴う多くの課題と共にスタートしました。任期中は出来る限り皆様方のために努力したいと思っております。至らぬ点多々出るとは思いますが、他の役員、会員及び先輩諸氏のお力を借り、進めて参りたいと考えております。

新羽町がますます良い街になることを祈念し、諸問題に対しましては皆様のご協力をお願いし、微力ではありますが地域社会のために頑張っております。思いご挨拶とさせていただきます。

北新羽町内会

会長 西山 一雄

この度平成十五年四月より前会長金子米太郎氏の後任として北新羽町内会長に就任いたしました。

金子氏は、町内会長として連合町内会長として多年に渡り新羽町発展のために一途に精進され、多大なる実績をあげられました。本当にご苦労様でした。

体調が思わしくないとこの事で、急に経験の少ない私が会長という重責を引き受け、微力ながらも全力を注いで任期を務めたいと思っております。

関係役員皆様方の御指導と御支援をよろしくお願いいたします。

クリオ新横浜北自治会

会長 三浦 敏郎

平成十五年四月よりクリオ新横浜北自治会の会長に就任いたしました。甚だ微力ではございますが、皆様方のあたたかいご指導とご協力をいただき、責務をまっとうしたいと思っております。

当自治会は、約三百の世帯を有し、一年交代で役員を選出しております。不慣れで至らない点もあるかと思いますが、新羽地区の親交や助け合いに少しでもご協力できればと思っております。

新羽町内会

会長 斉藤 實

前会長廣田繁穂氏の急逝により九月の町内会定例役員会、理事会のご推挙、承認を経て会長に就任しました。すでに当期は半年を経過しており、予算も確定しておりますので、前会長の路線を継承し肅々と諸事業を消化してまいります。

皆様各位にご指導ご鞭撻を賜り一日も早く仲間入りをいたしたいと思っております。当面三月末日まで全力投球し、来期は町内会の組織、体制も協議し町内会の皆様のご支持とご理解をいただければ統投もあり得るかと思っておりますので、前会長同様ご交宣を賜ります様お願い申し上げます。



たてわり活動 新羽小学校三年 小澤 茉由

わたしの学校には、たてわり活動があります。たてわり活動では全校遠足に行ったり、さつまいもの苗を植えたり、ふれあい給食でいっしょにご飯を食べたりします。たてわり活動は、ふだんあまりしゃべらない人と交流できるのがいいです。

今年の全校遠足は、地下鉄に乗ってきね公園に行きました。グループの人と楽しく遊んで、いっしょにおべんとうを食べました。

春に、グループの人とさつまいもの苗を植えました。それをこの間とり入れて楽しかったです。ふれあい給食では、クラスのグループの人と給食を食べました。

たてわり活動のリーダーは、一・二年のせわをしたり、注意をしたり、時計を見たりするのでたいへんだと思います。わたしが、六年生になってリーダーになったらみんなのためにがんばりたいです。



全校遠足・全校いもほり 新羽小学校四年 豊田 諒

今年の全校遠足で、きね公園に行きました。

ドロケイでケイサツになったときは、見はりをしていました。ドロボウになったときは、つかまつた友達をたすけました。

昼はビーチボールで遊んでいたら、どろだらけになってしまいました。

クイズでは「い」のつく歌を歌ってくれと言われてましたが、一回でOKされました。

一年から六年までのたてわりグループで遊んで、とても楽しかったです。家に帰ったらすぐにねてしまいました。

さつまいもでは、草むしりで軍手を忘れたので手がいたくなりました。でも最後に、さつまいも堀りをして、やきいもにして食べる事ができました。来年もたてわり活動の全校遠足やいも掘りが楽しみです。



さいほうを教えてもらって 新羽小学校五年 酒巻 健吾

六月二十日にさいほうを教えられる地域のおばあさんが学校に来て下さいました。

おばあさんは、すごく速く並みぬいをしていました。

ぼくがなかなか針に糸を通せないでいると、糸を糸切りばさみでななめに切ればいいと教えてくれました。その通りにやると、針の穴に糸が入りやすくなりました。

おばあさんは、さいほうについてよく知っているなと思いました。おばあさんは、並みぬいをかんたんにできるやり方も教えてくれました。そして、その通りにやると本当に楽に並みぬいできました。

今でもおばあさんの言った通りにしています。

ぼくは、そのおばあさんにとても感謝しています。

ありがとうございました。

新羽中学校3年 新城 三奈美

見つけたぞう

新羽中学校3年 茂田 悠

「ダメだよ」と言える心が
勇気のしるし
社会を明るくする運動入選作



ミニキャンプに参加して 新羽中学校3年 大石 幸奈

七月二十六・二十七日に毎年恒例となっているミニキャンプが新羽小・中で行われました。昨年よりも多い二百四十名余りの参加者数でした。私たち中学生ボランティアがやったことは、主に移動するときの人数確認でした。人数確認といっても一人足りないだけでも騒ぎになるのでとても気を遣いました。夜になるとメインの肝試しの準備をしました。二日間という短い間でしたが、普段はあまりやらないことばかりを経験しました。

低学年は、一つのことをやらせるのも大変ですが、高学年の子どもたちが手助けしてくれたこともありました。この体験が小学生たちにとって夏休みの一つの思い出になるように手助けが出来たことを嬉しく思います。それに、地域の方々の協力があったことなのだと思いました。

「ボランティア体験から」 新羽中学校教諭 勝田 真

八月十八日・十九日の両日、横浜市教育委員会の「ボランティア体験研修（初任者対象）」として地域作業所「ほっと・館 宇宙（そら）」で指導いただきました。過去、盲学校に勤務していた関係で、他の学校へ移った後も、年に三〜四回お手伝いをさせていただく等、ボランティア暦は浅いのですが、学生時代からボランティア活動に関心を寄せておりました。

ので、待ちわびていた研修でした。さて、私の一日の活動は、メンバーの方のお迎え（二十四時間テレビから寄付されたリフト付きバス）で始まりました。（夏休み明けに、生徒から「先生この前、二十四時間テレビの車に乗ってたでしょう。」と、声をかけられました。）その他には昼食時の手伝いや歯磨きの手伝いでした。また、一日目はちょうど大掃除の日でしたので、車椅子を利用してのメンバーの方と窓拭きを担当しました。洗剤を吹きかけ、メンバーの方が下の方を、私が上の方を担当しました。途中、メンバーの方が車椅子から立ち上がり、私に負けまいと上の方を拭いたり、また、一生懸命拭いているうちに、前のめりに車椅子から落ちそうになってしまおうというハプニングもありました。

二日間お世話になったわけですが、特に心に残ったことが二つあります。一つは昼食時のことです。もちろんその日のメニューが決まっているのですが、噛む力がないメンバーの方や、飲み込む力が十分でないメンバーの方がいます。その人たちは、別メニューだろうと思いましたが、実際は私も含め、みんなと同じメニューでした。もちろん、そのままでは食べられないので、スタッフの方がミキサーですりつぶし、みんなと同じ器に盛り、食事の介助をしていました。ちょっととしたアイディア、少しの気配りで同じ昼食、同じ時間を楽しめる。そのときの様子が今でも強く印象に残っています。

もう一つは、メンバーの方が帰った後の、スタッフミーティングです。「掃除のとき○○さんにだれもついていたよなね。」「△△さん、あの時どういう考えで行動していましたか。」「○○さんがどうしていいかわからなくなったのはなぜかな。」などと、スタッフそれぞれその日の様子を振り返ります。私自身、まったく気がつかなかったことがそこでやり取りされていた。とても勉強になりました。ふと、学校と同じだなと思いました。

二日間という短い期間でしたが、実際に自分がどういう役割を果たせるのか、迷うことが多々ありました。また、メンバーの方が何をしたいのか、一生懸命理解しようとしたが、とても難しいものでした。気軽に会話をしているスタッフの人たちがうらやましく思いました。今回の研修をきっかけに、今後にもさらにボランティア活動への理解に動めたいと思います。最後に、二日目に皆さんと一緒に食べた「流しそうめん」は特別な思い出になりました。二日間、私をご指導くださいました職員の皆様方メンバーの皆様方に深く感謝申し上げます。

車イスのおじいちゃん
新田小学校六年 村上 夏輝

ぼくのおじいちゃん、今年の九月に脳腫瘍になりました。十六時間の手術は成功しましたが、一時的に左半身にマヒが残りました。だから病院内は車イスで

移動しています。

最初に見た時は正直言ってショックでした。おじいちゃんは七十才ですが、運動神経がすごく良かったので、そんなおじいちゃんを見るのはいやだったです。

今はリハビリをしています。ぼくは病院へ行って、車イスをおしあげます。

なので、現在車イスに乗っている人を見ると、あの人はどうしてそうなったのだろうと思います。

今まで、ステップバスなどに乗ると、「どうしてだろう。座れなくて最悪。」ぐらいに思っていました。今はそうは思いません。

電車やバスや乗用車などに、いろいろな工夫があるのには感謝します。もっと車イスの人や身体障害者の人たちが暮らしやすいような世界ができたらと思います。

ぼくのおじいちゃんが入院している病棟には、ぼくと同じ年の子もいます。そういう人が暮らしやすくなるには、まずぼくがそういう人たちの気持ちになって、暮らしに役立てられるようにしたいと思います。

みんなで仲良く・・・
新田小学校五年 藤原 菜奈

私が四年生の時、総合の時間に「ふれあいタイム」という活動をしました。

ようち園、保育園との交流、高齢者の方との交流、アイマスク体験、手話、点字などいろいろなことをしました。

私は小さい子が好きなので、保育園に行きました。もともと小さ

い子の友達がいたので、たくさん遊ぶことができました。

また、高齢者の方ともふれあいました。この活動からいろいろなことが学べました。例えば小さな声で話しても聞こえないので、はっきり大きな声で話しかけようと思

がけました。

高齢者の方とふれあってから、前よりおじいちゃんやおばあちゃんに会いに行ったり、電話をしたりすることが多くなりました。

いろいろな人とふれあうたびに私の心はどこか成長する気がしました。「ふれあいタイム」は、私の心を育ててくれました。これから、自分からもっと進んでいろいろな人とふれあったり、関わったりしていきたいと思っています。

みんなが仲良くなれば、勉強や遊び、いろいろなことが今までよりもっと楽しくなり、世界のどんな人とも仲良くなれば、けんかも戦争もなくなると思っています。

手と心で読む
新田小学校四年 竹津 裕子

このお話は作者の「大島健甫」さんという人の本当のことです。

大島さんは、もう回ふくは望めないと分かってからも、しばらくの間、点字を覚える気にはなりませんでしたが、点字を覚えるようになってからはお母さんの進めでした。

わたしは点字が目の不自由な人の大切な文字とわかって、目の不自由な人はその点字を使って生活していることがわかりました。わたしは、大島さんたちは一生懸命勉強したと思うし、すごく大変

だと思うけど、やっと一つ何かを読めたときは、すごくうれしかったですと思います。

わたしが一番感じたことは、もつと目の不自由な人のためにいろいろなしせつとかを作ったほうが良いということだと思います。

手話との出会い
新田小学校四年 佐藤 杏

私は手話との出会いを読んで、手話が日本語とは別の言語だと思いました。

そして私は、本に買いてあるように、手話を習うときは辞典を使うのもいいと思うけど、できれば耳の聞こえない人たちと直接つかわることがいいと思います。

手話は単に伝えるための手段ではなく、耳の聞こえない人のとても大切な言葉だとしり、私はこの話を読んでよかったです。

「じいちゃんの家」についてお願い
「じいちゃんの家」表示板を掲示して下さる方(個人・事業所)をさがしています。これは子どもが身の危険を感じたとき、緊急避難できる場所のことです。

新羽中学校区内で不審者・変質者が出発しています。

連絡先 事務局 新羽中
電話 五四二一一六八〇

「地域に開かれた学校づくり」
新羽高等学校校長 木原壽美子

昭和52年、県民の要望を受け、地域の皆様の用地提供により、この地に新羽高校が開校してから27年が経過しました。その間、約一万名の卒業生を社会に送り出し地域の教育機関として任を果たしてきました。今、高校は更に地域との連携を強め、地域に開かれた学校づくりを進めることが必要になっていきます。本校も新羽小学校、新羽中学校との交流に力を入れてきました。6月には新羽中学校の3年生全員に高校へ来ていただき、高校の授業を体験して貰いました。8月の新羽フェスティバルには高校の軽音楽部と吹奏楽部が出演させていただきました。高校の学校評議員には、地域から小学校、中学校の校長先生と学校の所在地である大竹町内会長さん、生徒の主な通学路である南町内会長さんの4名になっていただき、地域のご意見を学校経営に反映させて参りました。また、高校の敷地内に古墳がある関係から、編纂中の「新羽史」にも関係記事を載せていただきました。パソコン教室において頂いたり、校庭をご利用頂いたりして、更に交流を深めていきたいと考えております。

先日、大変嬉しいことがおきました。本校が20数年に亘って実施してきた地域清掃活動を、中山会長さん始め社協の皆様が推薦して下さい、港北区社会福祉協議会か

ら表彰状を頂きました。
生徒が通学路を汚すので始まった清掃活動だったようですが、生徒と教員が協力して継続してきました。1学期は1年生、2、3学期は2、3年生が担当します。月に1回水曜日の4校時に行います。学校を中心にして、大竹交差点、亀の甲橋、専念寺バス停、北新横浜駅の範囲で実施しています。本校が力を入れている教育活動が「環境教育」でもありますのでこれからも実施したいと考えています。



豊かな鶴見川と美しい新羽丘陵、そして人と人のふれあい深いこの土地で、生徒の心に沁みわたる人間教育を目指しています。生徒たちが成人し、自分の高校時代を振り返った時、この縄文、弥生時代から人びとが生き続けてきた文化豊かな新羽の風景が蘇ってくることを願っています。どうぞこれからもご支援を宜しくお願い申し上げます。

「共生と環境」

新羽高等学校3年 石井 桂子

数ヶ月前、駅のボランティアに友達と参加しました。その中に体験学習というのがあり、車椅子に乗ったり、アイマスクをしたりして駅周辺を歩きました。段差や傾斜で車椅子は動かず、大変苦労しました。アイマスクをしたら、階段、段差、横断歩道は恐ろしくて歩けませんでした。障害を持つ人にとって、住み難い環境であることを実感しました。

以前、車椅子に乗った人が段差で躓いて倒れた時、私は助けに行きませんでした。誰かが起こすのを手伝うだろうと思ってしまいました。今考えると、何故そう思い、起きるのを手伝わなかったのか不思議です。

これからは困っている人がいたら、迷わず手助けに行きたいです。自分でできることから実行して、障害を持つ人にとって住みやすい環境づくりに協力したいと思っています。

たとえば自転車歩道を置かず、決められた場所に置いたりすることも、できることの一つです。自分のできることから始めていこうと思えました。



弥生時代土器 (新羽高校提供)



2002年度 第46回横浜スカーフデザインコンテスト プラスカフの部 (高校生対象) 特別奨励賞 2年2組 松尾雄太

新羽小ふれあい

給食会に参加して
体育指導委員 川向 隆次

十一月十日(月) P.T.A、主任児童委員、民生・児童委員、町内会長の皆様十四名で参加しました。三年生三クラス、四年生二クラスに別れ、それぞれ代表の方に教室まで案内していただき、皆さんと同じメニューで、学校内での事、家庭内での事、色々とお話しながら楽しくおいしく頂きました。メニューは意外と質素な感じですが、おかわりする人も見受けられました。食事後、簡単なゲームで遊びましたが、大勢の仲間と一緒に食事をするという雰囲気のでいしうか、元気を通って超えて騒々しく、先生の声が全く聞こえない部分もありました。
然し全員が健康で楽しく、学校生活を送っている事を充分感じることが出来ました。
短い時間で楽しく過ごす事が出来、本当に有り難うございました。

ふれあい給食 主任児童委員 飯島由美子

六月二十日、新羽小学校で民生児童委員を含めた地域の人と、三・四年生の子供たちと一緒にふれあい給食に参加しました。
手作りの名札を胸につけ、案内されたクラスで机を囲み、給食を食べながらおしゃべりをしたり、ゲームや歌と楽しいひとときを過ごす事ができました。



中山 宏会長も参加して

エリザベスサンダース ホーム訪問記

平成十五年度新羽地区社会福祉協議会の事業として実施された施設慰問・見学会に参加する機会を得た。

港北区長の持田様はじめ四十六名の皆様と、去る十月二十三日にご一緒させていただきました。

別荘の点在する湘南大磯駅前にその訪問先はあった。エリザベスサンダースホームの名称は、英国聖公会信徒の女史が百七十ドルを遺贈したのに感激して澤田美喜さんが名付けたそうである。



昭和23年5月23日 最初の子供たちと澤田美喜園長

戦後の昭和二十二年、混血乳幼孤児の救済に立ちあがった澤田美喜さんは、ご存じの通り名門の岩崎家の出である。今回訪問して解った事は、財閥がバックにあってのお嬢さん仕事では無かったことである。女史は大変バイタリティーに富んだ、子どもたちのためならどんな困難にも立ち向かう強固な心の持ち主だった様である。
昭和二十九年には、世界的な黒人歌手ジョセフィン・ベーカーが訪日して募金活動を展開したり、著名な小説家であるパール・バック女史がアメリカでの自立援助のため四名の混血孤児を引き取ったり等して話題になった事を記憶されている先輩方も多からう。
現在は世情も大きく様変わりし、社会福祉法人・児童養護施設として定員百名規模の事業を展開している。
「澤田イズムは今だ健在なり」と心に感じ帰路についた。
(編集人記)

新羽地区社協 事業計画のおしらせ

平成十五年度の事業計画を紹介いたします。

- 一、在宅介護・慰問
寝たきり、重度心身障害者等民生・児童委員が慰問をしています。
- 二、児童福祉
地区内小学校、新入学児童全員に交通安全を願って黄色い帽子を配布しています。(新羽小・新田小)本年度は一二五個差し上げました。
- 三、年末助け合い運動
主に町内会の皆様のご協力により募金活動を実施しております。また、新羽駅前等で民生委員による街頭募金もしています。
- 四、会報の発行
新羽地区町内会・自治会のご協力により全世帯に配布をして情報を発信しています。(四、五〇〇部)

川柳

荒井 広和

馬鹿にした父の水車と
母の掌を聞くと
継いで知り
文字が透け



西山のぼる

アルコールに何時か

胃袋盗まれる

頰残漢な 会話

頰くもう一人

港北区社会福祉協議会
賛助会員として
御協力いただいた
皆様です。
ご紹介いたします。

総額
1,611,000円
(523名)

●賛助会費をお納めいただきまし
た皆様をご紹介いたします。
たくさんの方々にご協力を戴き、
まことにありがとうございます。

●新羽町南町内会
中村徳次、中村文之、中村利夫、ミナシ石
油(株)、峯栄興産(株)、望月文夫、小山三郎、
丸山食堂、木内信次、中村久治、望月隆
望月博、中村昇、尾沼新一、望月俊一
尾沼久夫、渡部隆夫、川村利雄、加藤和明、
小山隆樹、望月林蔵、間野重夫、小山初蔵
江口フミ子、中山賢治、長澤保茂、望月貞
夫、望月浅治、三橋清、望月福松、小山
三郎、望月良一、峯喜代造(志) 専念寺
中村敬三、二橋雅久、小山耕太郎、小山芳
男、小山豊、望月 要、安達重成、島田
勝美

●新羽町中之久保町内会
長谷川武明、(株)米山商事、ニッパ(株)、小山
喜作、米山 進、長澤弥作、小山茂雄、富
士川一吉、(株)中野製作所、小山幸夫、小
山泰男、小山祐一、小山清作、米山敏春、小
山秀夫、比嘉幸夫、小山喜治、小山富蔵、
渡邊喜市、岸 二郎、五十嵐繁夫、梅津辰
雄、小山武三郎、宮崎昭也、大柴正雄、荒
川利夫、東海林紀子、小清一、片山蘭子
医院、小山信義、森田表貞、(株)高松研鑽
丸重食品工業(株)、小林慈子、(株)間製作所
(株)吉原板金工業所、小原理機、藤代精機
(株)羽黒製作所、(株)伸生製作所、(三)須製作
所、(株)河口工業、(株)コスモ、浜田桂一、(株)
ミツハシ港北工場、(株)名越製作所、(株)扶桑
エンジニアリング、富士食品工業(株)新羽工
場、(株)協和日成、東京エンジニアリング(株)
甲斐工業(株)、東神商事(株)横浜工場、知見電
装、渡辺安延、農工建設(株)、秋本清一、(株)
サンオートタス、富士川実、富士川弘、古宮
照雄、小山健治、(株)新港精機製作所、小山
米子、丸八福包(株)、(株)ニマックス、(株)坂
本書店、菊池昌幸、田辺商事(株)横浜支店、
(株)小野電気商会、(株)キートン横浜営業所、キッ
チンママ、小山信子、高橋 稔、蓮池智恵
子、砥石塗装店、奥山 豊、(株)アトリエ(株)
(株)旭ネームプレート製作所、(株)アトリエ(株)
ン、(株)ハセテック、栗林裕司、ロイヤル新
羽南店、(株)大東鋼機、木川田隆、小林美奈
子、松下電気フリー介護センター、新羽新
横浜、渡辺新八、大村富士男、小山建次、
福添幸子、(株)横浜精機、山尾直喜

●新羽町大竹町内会
中山幹雄、松村清見、中山福平、飯島里子、
齊藤初雄、佐藤正義、(株)岸コーティング、
(株)エクシング横浜営業所、中山一雄、横浜

電気車(株)、日本アトム工業(株)、三興合
金(株)、(株)大成パーツ、(株)坂坂電気商会、平
等勝尊、秋元勝治郎、和田国雄、(株)港北電
業社、中野福包材料(株)、医療法人社団藤家
外科胃腸科、河田自動車(株)、伊奈寿男、中
山勉、(株)伸通通信、中山菊雄、東洋電源
機器(株)、武石直信、中山利光、中山昌子、
中山正明、飯島房吉、西村 淳、中山 正、
中山太興紙工所、中山 小野、宇佐美直人、
白岩組、杉浦邦人、小野 明、飯島由美子

●新羽町中央町内会
中山 宏、土岐章彦、中村信男、(株)ヨネヤ
ムブランド、村田祇臣、小池 裕、
秋元正義、米山政勝、中村 明、茂呂キミ、
秋元孝之、秋元信雄、大森五郎、米山
明、米山政男、村田宗吉、米山富造、秋元
正、小沢 潔、大角範子、米山裕司、藤
卷伊佐夫、(株)大谷自動車修理工場、中山幸
一、米山章吉、村田和夫、村田由雄、中山丸
莊一郎、中丸恵子、岸 寿雄、秋元信一、
秋本タカ、岸 由郎、岸 順一、秋元義顕、
秋元 明、中丸一夫、中丸一太、佐藤忠夫、
酒川国男、秋本 稔、金沢源次、秋山道夫、
秋元清和、酒川博司、柳下春治、尾出初男、
尾出敏和、米山春男、柳下祐雄、斎藤文夫、
米山 幸、酒川 正、中山タツ、柳下利男、
岸 常夫、公文マキ、高橋春美、(株)魚のぶ、
キリンビバレッジ(株)新横浜支店、米山良三、
増川新吉、増川貞助、芙蓉工業(株)、スウィ
ングスタジアム横浜、横浜農協新羽支店、
(株)石原興業、松村整形外科、かわの消化器
クリニック、鎌田工務店、新羽調剤薬局、
ローヤルよつや、ノエビア京浜北社、炉
ばた焼季作

●新羽町自治会
塩山良三、柴田 周、畑之口林、藤井道郎、
真光孝雄、高崎林、畑清一郎、石井源太
郎、猪野伸吾、(株)イワサキ工業、松沢 茂
鈴木俊清、森田 美、飯田美佐子、豊久満
春子、高橋英治、宮沢良男、小松賢吉、秋
元和男、名倉隆夫、橋谷恵一、山口治郎、
八木照子、川島 弘、井手龍正子、高梨静
江、中山文雄、渡辺常司、戸国恵子、小林
四郎、大迫 勇、渡辺辰雄、長田登己雄、
石田トモ子、萩原尚子、さわか信用金庫
新羽支店、コンクリートコーリング(株)神奈
川営業所、磯辺秀夫、中村憲代、角田池野
角岡智恵子、西村愛子、村村孝良、鴻池孝
也、川嶋克己、穴戸雄行、野村 巨、菅野
光蔵、江上雄三、徳原充宏、村田賢二、水
谷重雄、石井 七、(株)ベール、(株)ハウス、坂
本八重子、日産プリンス神奈川販売(株)港北
営業所、林 繁延、中島 清、是枝キヨ、
近藤光生、河内正一、松本東五、松本幹夫、
菅原正男、藤原久子、難波侯子、(株)豊広ブ
ラスチック工業、高橋裕司、岩崎忠寿、山
田 恵、丹野光吉、金子紀代子、佐藤勇三
郎、吉田裕三、森 圭三、石川彰一、綿谷
孝子、丸山文司、白鳥仁郎、青木 繁、内
古昭好、平野四郎、長谷川博一、山崎一、

●新羽町町内会
水上千代子、秋元弘次郎、小林幸徳、石田
一義、秋元和夫、高橋己代治、小日山宏、
渡邊正文、小川清志、岸川繁則、佐野雅彦、
中村タイ子

●新羽町町内会
万寿留夫、(株)アルプス物流、川向隆次、伊
形聡明、飯塚 昭、阿部留蔵、(株)プラザ
秋生田アイ子、三洋機械(株)、池池上精機、
廣田繁徳、三邦産業(株)、太刀川萬蔵、大谷
勇、武元慶子、中村利雄、(株)サンエス工
業、大谷和夫、今橋富美男、桑畑美佐、山
本勝己、福島三、工藤朋子、葉山直子、
細野雄平、真坂 栄、三田裕則、大城信幸、
保川俊、富岡正行、鈴木昌恵、鈴木正敏、
高瀬金蔵、藤野昌之、(株)川忠範、渡辺 登
佐藤 昭、長野昌之、(株)ノサマ商事、(株)
細田鉄工所、(株)北原紙器製作所、(株)丸井精
機製作所、小笠原幸夫、(株)時久組、城南メッ
キ(株)、新保徳四郎、鈴木義一、安達忠次、
酒井キイ、遠藤久雄、鈴木ミツ子

●北新羽町内会
西山一雄、西山 登、秋元恵作、石川清子、
秋元清助、西山正男、西山藤次郎、秋元さ
きは、高瀬豊吉、西山藤二、秋本賢一、
秋本義雄、小林英子、田中 弘、江川 宏、
佐藤達雄、西山 実、井田義一、廣田昌男、
西山嘉一、小山寿郎、秋葉 勇、西山孝雄、
飯島春夫、吉田達雄、小山直一、望月哲雄、
飯島昇吉、野口和正、土岐 進、小山幸男、
飯島公男、高瀬 忍、上岐、秋本保雄、
飯島法人、寛栄会カメラ、大谷庄一、西山
良行、大谷 勉、金子道夫、萩原正夫、大
森俊雄、米山泰男、金子輝夫、大谷佐一、
齊藤光雄、橋野 稔、金子敏男、西山政一、
大森英司、(株)雪平工務店、萩原正夫、吉田
厚雄、吉田隆男、西山俊治、金子米太郎、
金子高之、坂倉幹夫、金子泰男、中山鶴吉、
吉田 宏、下田 博、藤田久雄、坂倉茂次、
金子淳一、金子貞夫、石井栄蔵、坂倉正一、
飯島正夫、望月紀一、吉田 清、金子 勉、
西山利夫、フライマックス、明石成信、日
通ペリカンセンター、金子春吉、永井喜男、
秋本春雄、高瀬正一、高瀬 明、西山良雄、
秋本一男、大森幹夫、金子紀夫、金子輝男、
高瀬茂夫、野路朝哉、今井芳雄、野村礼子、
藤田明美、池上喜子男、増井満雄、荒川
二郎、中原重高、緒方 晃、海野勘次、西藤
久子、神奈川シヨリ工業

●以上五百二十三名(社)八百五十五口、
百六十一万一千円之多額のご協力を戴きま
した。

「港北区社会福祉協議会」へ納入します。
その半額が「地区社会福祉協議会」へ還
元され、福祉事業の活動費として活用させ
ていただいております。

新羽地区社会福祉協議会 平成十五年 年末たすけあい運動 結果報告

| 町会名 | 募金額 |
|--------------|-------------------|
| 南町内会 | 166,500 |
| 中之久保町内会 | 213,917 |
| 大竹町内会 | 70,350 |
| 中央町内会 | 230,400 |
| 新羽町自治会 | 170,200 |
| 新羽町町内会 | 185,000 |
| 北新羽町内会 | 207,200 |
| クリオ新横浜北 | 111,000 |
| 募金総合計 | 1,354,567円 |



「寛政九年(1798年)寺子屋に通って
いた新羽の子供達で作ってお参りしたと伝
えられる石の天神様(西方寺所蔵)

帰幽

副会長 廣田繁徳(七十五) 殿
平成十五年八月十九日没
平成十五年八月十六日没
廣報委員 石井 卓(八十五) 殿
お二方の生前のご功績をしのび、
謹んで哀悼の意を表します。
新羽地区社会福祉協議会

編集後記

見ざる・聞かざる・言わざると
いう。いやなことはそうしたい。
しかし正しいことには、そうは参
るまい。新羽の郷には庚申塔が十
三程、道標を兼ねて鎮座している。
そこには三猿が彫られている。
本年は申年である。手を合せるの
もよからう (編集人)